

Tips: PowerPoint のファイルをコンテンツページとする

Copyright © EMIT Japan Corporation

概要

PowerPoint を Web 形式として保存したファイル¹、または画像として保存したファイルをコンテンツページとして追加する手順を説明します。コンテンツページとして追加すると、ページトラッキング機能（そのコンテンツがどれくらい学生に閲覧されたかなどの統計をとる機能です。コンテンツページの各ページが統計をとる対象となります。）を利用することができます。ただし、Netscape をブラウザとして利用されている場合は文字化けの問題がありますので、シングルページとして利用されることをお勧めいたします。²ここでは、OfficeXP で作成した PowerPoint を題材に説明します。

この Tips は以下の内容を含んでいます。

コンテンツページの 1 ページとする

画像形式で保存した PowerPoint のページをコンテンツページにする

参考 Web ページ

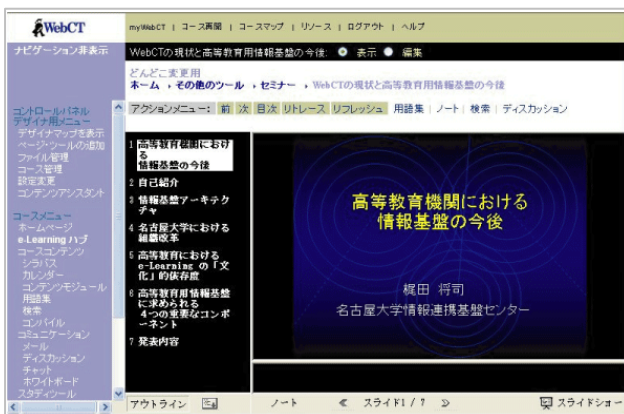


図 1 : Web 形式で保存した PowerPoint のファイルを、コンテンツページの 1 ページにしている例

¹ Web 形式として保存する手順は、別 Tips: 「PowerPoint のファイルを WebCT で使う」をご覧ください。

² シングルページとして追加する手順は、別 Tips: 「シングルページを利用する」をご覧ください。

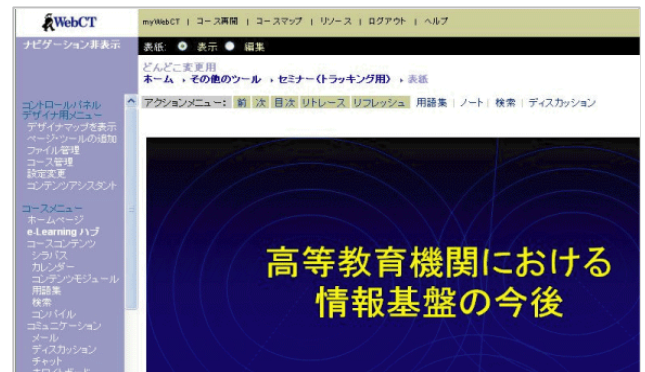


図 2 : 画像形式で保存した PowerPoint のページをコンテンツページにしている例

コンテンツページの 1 ページとする

PowerPoint を Web 形式として保存したファイルをコンテンツモジュールに組み込むと、1 ページのコンテンツページになります。その詳細手順を説明します。あらかじめ、コンテンツモジュールは用意しておいてください。

手順

1. 保存したファイルを WebCT にアップロード
2. コンテンツページとして追加
3. コンテンツページの一部を修正
4. 学生ビューの更新

1. 保存したファイルを WebCT にアップロード

1. Web ページとして保存したファイル群が、下記のようなディレクトリ構成になっていることを確認してください。

```
----<ファイル名>.html  
  
|  
  
+-<ファイル名>.files----XXXX.html  
    +-XXXX.js  
    +-XXXX.xml  
    +- . . . (その他多数のファイル)
```

1. で作成したファイルすべてを、WebCT にアップロードします。³

2. コンテンツページとして追加

1. コンテンツページとして追加予定のコンテンツモジュールの目次画面を編集モードで表示します。
2. 「目次の編集」の下で、「ファイルの追加」を選択し、Go をクリックします。ファイルの追加画面が表示されます。
3. ここで「ファイル名：」の下でアップロードしたファイルの中で、<ファイル名>.html のファイルをクリックして選択します。(図3参照)
4. 最後に、追加をクリックします。再び、コンテンツモジュールの目次画面が表示されます。Web ページとして保存する際に付けたタイトル名が目次に追加されていることを確認します。

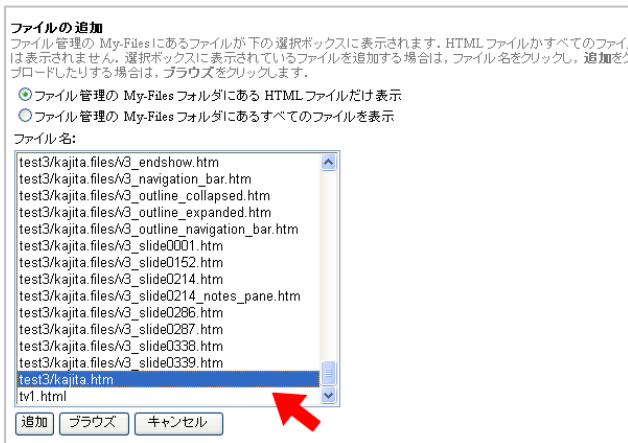


図 3 : コンテンツページのファイルの追加画面

3. コンテンツページの一部を修正

1. コンテンツモジュールの目次画面で、追加したコンテンツページ名をクリックします。コンテンツページの編集画面が表示されます。
2. 「メインオプション」の下で、「ファイルの編集」を選択し、Go をクリックします。ファイルの編集画面が表示されます。
3. テキストボックスに HTML が表示されます。以下のようにならに書かれている部分を編集します。⁴

³複数のファイルをアップロードする方法は、別 Tips: 「コンテンツを WebCT にアップロードする」をご覧ください

⁴ [My-Files]以下に新規に作成したフォルダに素材を置いている場合は、[My-Files]以下からのパスも必要となります。
(例) [My-Files]以下に、「export」というフォルダを作成して、そのフォルダに素材(<ファイル名>.html)を作成している場合は以下のようにパスを追加します。
<コース ID> /export/
<ファイル名>.files/frame.htm"+document.location.hash

<ファイル名>.files/frame.htm"+document.location.hash

<コース ID>/<ファイル名>.files/frame.htm"+document.location.hash

4. 編集が終われば、保存をクリックします。再び、コンテンツページの編集画面が表示されます。

4. 学生ビューの更新

1. 画面上部の「学生ビューを更新」をクリックします。コンテンツページの学生ビューの更新画面が表示されます。
2. 「コース全体を更新」が選択されていることを確認して、更新をクリックします。学生ビューの更新結果画面が表示されます。
3. 最後に、「<コンテンツページ各>に戻る」をクリックしてコンテンツページに戻ります。コンテンツページの編集画面が表示されます。
4. メニューバで「表示」を選択します。問題なく PowerPoint のファイルが表示されていることを確認します。(図1参照)

画像形式で保存した PowerPoint をコンテンツページにする

PowerPoint の各ページを画像として保存したファイルをコンテンツモジュールに組み込むと、PowerPoint の各ページがコンテンツページの各ページになります。その詳細手順を説明します。あらかじめ、コンテンツモジュールは用意しておいてください。

手順

1. 保存したファイルを WebCT にアップロード
2. コンテンツページとして追加
3. 目次のページタイトルの編集
4. 学生ビューの更新

1. 保存したファイルを WebCT にアップロード

1. 画像として保存したファイル群のファイル名を日本語名を含まない半角英数字のみのファイル名に修正していることを確認してください。
2. 1. で作成したファイルすべてを、WebCT にアップロードします。³

2. コンテンツページとして追加

1. コンテンツページとして追加予定のコンテンツモジュールの目次画面を編集モードで表示します。

- 「目次の編集」の下で、「ファイルの追加」を選択し、Go をクリックします。ファイルの追加画面が表示されます。
- 「ファイル管理の My-Files フォルダにあるすべてのファイルを表示」を選択します。すると、My-Files フォルダ以下にある HTML ファイル以外のファイルも閲覧できます。
- 次に、「ファイル名：」の下で追加するファイルを選択します。複数のファイルを選択するには、以下の方法を利用します。(図4参照)
 - 連続したファイルを選択
マウスでドラッグして複数のファイルを選択するか、キーボードで操作する時は Shift キーを押しながら、矢印キーで選択します。
 - 離れた複数のファイルを選択
指定したいファイルを Ctrl キーを押しながら、マウスでクリックして選択します。
- 最後に、追加をクリックします。再び、コンテンツモジュールの目次画面が表示されます。
- 追加したいファイルがすべて目次に追加されているか確認します。

3. 目次タイトルの編集

- 「目次の編集」の下で、「ページタイトルの編集」を選択し、Go をクリックします。
- ページタイトルとして適したタイトル名をつけます。最後に更新をクリックします。

4. 学生ビューの更新

- 画面上部のアクションの下で「学生ビューの更新」をクリックします。コンテンツページの学生ビューの更新画面が表示されます。
- 「コース全体を更新」が選択されていることを確認して、更新をクリックします。学生ビューの更新結果画面が表示されます。
- 最後に、「<コンテンツページ各>に戻る」をクリックしてコンテンツモジュールに戻ります。コンテンツページの編集画面が表示されます。
- メニューバで「表示」を選択します。問題なく PowerPoint のファイルが表示されていることを確認します。(図2参照)

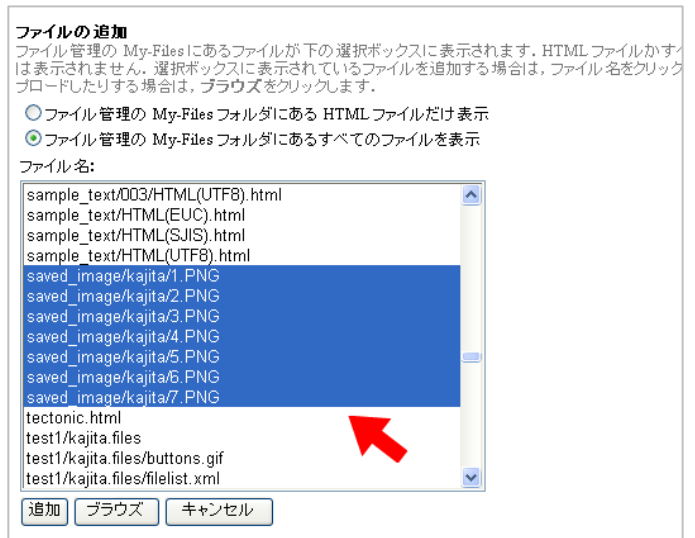


図 4：コンテンツページの複数ファイルの選択



図 5：コンテンツモジュールで目次を表示させた例

目次を常に表示しよう

画像として保存したものをコンテンツモジュールに追加すると PowerPoint の目次が見えません。そのため、PowerPoint の今何ページ目を見ているのかわからなくなります。この問題を解消するために、コンテンツモジュールの目次を常に表示する設定に見ましよう。(図5参照)

(方法)

コンテンツモジュールの目次画面を編集モードにします。その後「アクション」の下で「コンテンツモジュールの編集」をクリックしてコンテンツモジュール設定画面を表示します。「目次」の下で「各ページの左側「XXX」ピクセル」を選択し、更新をクリックします。詳しくは、別 Tips：「コンテンツモジュールでできること」をご覧ください。

参考 Web ページ

コンテンツモジュールで PowerPoint のファイルを利用
する方法 :

<https://webct.ait.iastate.edu/ISUtools/webhtml/quickstart/pptXP.pdf>

WebCT Support Knowledge Base # KB0000000000455

<http://help.webct.com/knowledgebase>

この Tips は以下の環境で確認しました。

サーバ :WebCT3.8 日本語版 / RedhatLinux 7.3

クライアントOS :WindowsXP

クライアントブラウザ IE6.0SP1

(2003 年 11 月 13 日 瀧 美渚子作成)